この取扱説明書をお読みいただく際は、
左ページの時計図を開いた状態でお読みください。

When reading this instruction manual please keep the watch diagram at left folded out and in view.

＜この時計の修理について＞

この時計は、バンドを除くすべての修理は「メーカー修理」となります。
これは、修理、点検、整備等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご依頼ください。

＜Notice＞

All parts of this watch, except for the band, are to be repaired only at CITIZEN.
This is because special technologies and equipment are required to perform repairs, inspections and adjustments. Please make requests for repairs to Citizen Consumer Help Desk or Customer Support Center when having your watch repaired.

＜保護シールについて＞

時計には工場出荷から販売店までのキズ防止のために、ガラス、裏ぶた、金属バンド、中留めの金属部分に保護シールをつけて出荷しているものがあります。このシールをつけたまま使用されますと、シールのすき間に汗や水分が入り込んで、汚れによるかぶれや金属部分の腐食の原因となることがあります。必ずシールをはがしてご使用ください。

このたびは、シチズンウオッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要の際にご覧ください。
また、シチズンホームページ（http://citizen.jp/）の
「サポート」→「時計の操作ガイド」→「機種番号」で操作説明がご覧いただけます。

* モデルによって、搭載される外装機能（計算尺、タキメーターなど）が異なります。取扱説明書に記載されていない外装機能の操作については、「時計の操作ガイド」をご覧ください。

機種番号の見かた

時計の裏ぶたに、アルファベットを含む 4 ケタと 6 ケタ以上からなる番号が刻印されています。
この番号を「側番号」といいます。
側番号の先頭の 4 ケタが機種番号になります。
図では「1234」が機種番号です。

＜刻印の位置の例＞

時計によって表示位置は異なります。

安全にお使いいただくために — 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **危険**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
⚠ **警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

⚠	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

目 次

1. 商品の特徴 …… 6
2. りゅうずの操作方法 …… 8
3. ご使用になる前にお確かめください …… 10
・基準位置確認方法 …… 12
4. 機能一覧 …… 14

電波受信

5. 受信可能地域の目安 …… 16
6. 上手に受信するために …… 18
7. 受信が困難な場所について …… 19
8. 受信の方法 …… 20
A. 受信中の秒針の位置 …… 22
B. 受信結果の確認方法 …… 23

手動による時刻、カレンダーの合わせ方

9. 時刻の合わせ方 …… 24
10. カレンダーの合わせ方 …… 26
11. 時差修正の方法 …… 29
12. デュアルタイム設定方法 …… 30
13. 基準位置の確認と修正方法 …… 32

光発電

14. 光発電機能について …… 34
15. ソーラーパワーウオッチ特有の機能について …… 36
A. パワーセーブ機能 …… 38
B. 充電警告機能 …… 40
C. 過充電防止機能 …… 41
D. 充電時間の目安 …… 42
E. 取り扱い上の注意 …… 44

こんなときには

電波受信機能について …… 46
エコ・ドライブについて …… 48

お取り扱いにあたって …… 50
16. 製品仕様 …… 58
保証とアフターサービスについて …… 60
受信困難なお客様へ …… 62
お問い合わせ窓口 …… 64

1. 商品の特徴

◎**受信機能：**福島と九州の 2 局から送信される標準電波（時刻情報）を受信環境の良い局を選んで受信し、時刻や日付を自動修正する電波時計です。

◎**エコ・ドライブ機能：**光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を動かす光発電機能を持ったエコドライブ電波時計です。文字板に光が当たっていないときに時計の消費電力を抑えるパワーセーブ機能を備えています。

◎**デュアルタイム機能：**現在時刻のほかに 24 時間針を備え、海外時刻などもう一つ表示ができる機能を備えています。

◎**時差修正機能：**海外でのご使用に便利な時差修正付きです。
時差のある地域へ行ったとき、現地時刻へ簡単に合わせることができます。

Perfex パーフェックス

● 「JIS1 種耐磁時計」、「衝撃検知機能」、「針自動補正機能」という 3 つの機能を一体化させることによって、衝撃や磁気などの外部要因による針ずれを防止しています。

◎ **JIS1 種耐磁時計とは：**日常生活で磁界を発生する機器に 5cm まで近づけても時計の性能を維持します。

◎ **衝撃検知機能：**時計が衝撃を受けたときに秒針、分針、時針のずれを防ぐ機能です。

◎ **針自動補正機能（針の基準位置自動補正機能）：**針の基準位置が適正であるか、一定時間毎に針位置をチェックし、ずれを検出した場合は自動的に、秒針、分針、時針を高速で補正し、正しい時刻を保持する機能です。

2. りゅうずの操作方法

りゅうずには“通常のもの”と“ねじロック”のモデルがあります。

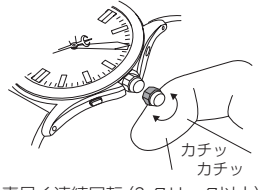
＜ねじロックりゅうずの場合の操作方法＞

1. りゅうずを左に回します。

2. ねじロックが解除されると、りゅうずが少し飛び出し、りゅうずが通常位置になります。

3. 操作が終わったらりゅうずを右に回してロックしてください。

＜針および日付を連続運針させるには＞

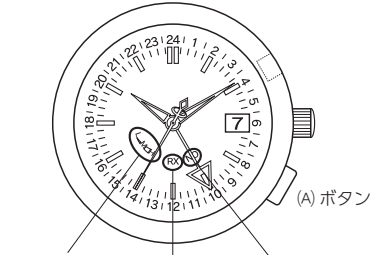


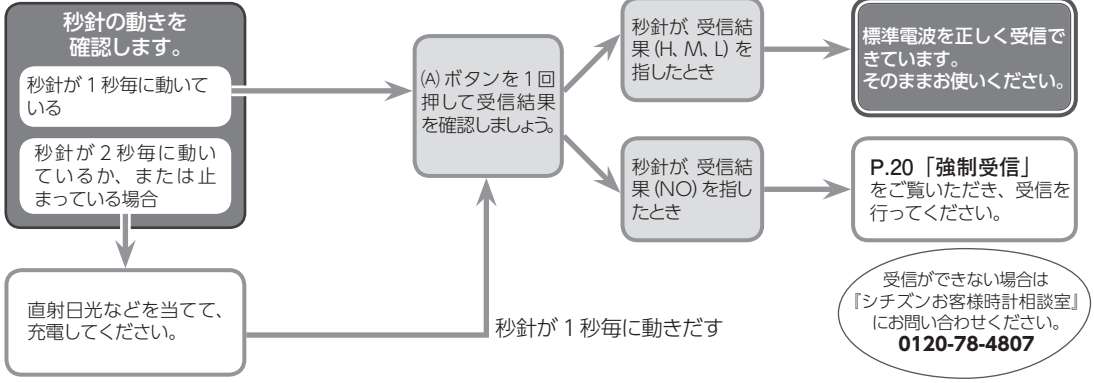
素早く連続回転（2 クリック以上）させてください

1. りゅうずを 1 段引き、2 段引き位置で、右または左に素早く連続回転（2 クリック以上）すると、各針および日付が連続で動きます。

2. 連続運針を止める場合は、りゅうずを右または、左に回転（1 クリック）させてください。

3. ご使用になる前にお確かめください





基準位置確認方法

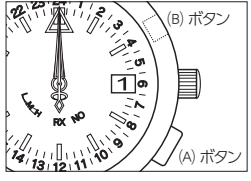
『ご使用の前に体重計と同じように針が“0”になっているか確認しましょう』

強い磁気や静電気、衝撃を受けたときに基準位置がずれる場合があります。せっかく電波受信をしてもを正しい基準位置に合わせていなければ正確な時刻を表示することができません。針がきちんと“0”を指しているか確認しましょう。

影響のある磁気製品の例

- 健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）
- 冷蔵庫（ドアのマグネット部）
- 電磁調理器
- バッグ（磁石の留め具）
- 携帯電話（スピーカー部）などに近づけないでください。

電波時計は、針の基準位置「0 時 0 分 0 秒」と 24 時間針「0 時」、日付「1 日」、をもとにして、受信した標準時刻や日付を表示します。



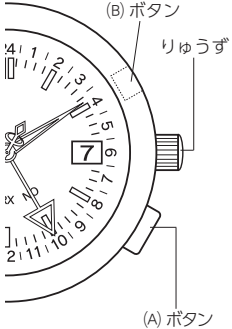
正しい基準位置の表示
時刻：0 時 0 分 0 秒
24 時間針：0 時
日付：1 日

基準位置が正しく表示するか確認してください。

- りゅうずは通常位置のまま、(B) ボタンを約 5 秒以上押し続け、秒針が正転または逆転で動き始めたら離します。
  すべての針および、日付が高速で運針し、時計の記憶している基準位置で止まります。
  - 最大約 7 分かかる場合があります。

※上記の基準位置表示以外の場合は **「P.32 基準位置の確認と修正方法」** をご覧ください。

4. 機能一覧



機能	各ボタンまたはりゅうずの操作	針の動き
強制受信 P.20	(A) ボタンを 2 秒以上押し、秒針が RX に止まったら離します。	秒針が RX に停止し、その後「H、M、L」レベルに移動します。受信レベルを指さない場合は、受信できず通常運針にもどります。
受信結果確認 P.23	(A) ボタンを 1 回押します。	秒針が「H、M、L」または、「NO」に停止します。
デュアルタイム P.30	りゅうず 1 段引きにし、(B) ボタンを 1 回押します。	秒針 12 時位置がホームタイム時差± 0 です。秒針 1 ステップが 1 時間分の時差を表示します。
時差修正 P.29	(B) ボタンを 1 回押し、りゅうずをそのまま回します。設定後(B) ボタンを 1 回押します。	秒針が 12 時位置に停止します。(時差設定されている場合は、時差分の位置で停止します。) 秒針 12 時位置が時差± 0 です。秒針 1 ステップが 1 時間分の時差を表示します。
手動による・時刻修正 P.24	りゅうずを 2 段引きにします。	りゅうず右回転で秒針が時計回りに 1 回転し、分針が 1 分進みます。 左回転で秒針が反時計回りに 1 回転し、分針が 1 分もどります。 分針・時針を早送りする場合は、りゅうずを素早く連続回転させてください。 ※日付が切り替わったときが午前 0 時を指します。
・カレンダー修正 P.26 **(うるう年からの経過年)**	りゅうずを 1 段引きにします。 *(A) ボタンを 1 回押すごとに ⇒うるう年の修正⇒日付に替わります。	時計が記憶している「うるう年からの経過年」の位置に秒針が移動し、停止します。 日付：りゅうず右回転で日付が 1 日進み、左回転でもどります。 うるう年：(A) ボタンを 1 回押し、りゅうず右回転で秒針が 1 ステップ進み、左回転でもどります。

5. 受信可能地域の目安

この時計は標準電波の受信局自動選択機能付きです。受信可能地域の目安は次の通りです。ただし、日の出、日の入りの時間帯や季節の変化、天候（落雷など）により、電波状況は変化します。
受信可能地域はあくまでも目安ですので、図の範囲でも受信できない場合があります。

〈電波送信所〉

・おおたかどや山標準電波送信所（福島局）
・はがね山標準電波送信所（九州局）

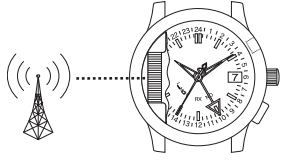
日本国内の標準電波はほぼ 24 時間継続して送信されていますが、保守点検等で送信が中断されることがあります。標準電波の送信状態の確認は、情報通信研究所機構・日本標準時プロジェクトのホームページ (http://jjy.nict.go.jp/) をご覧ください。

標準電波は、人体や医療機器には一切影響がありません。

日本に 2 カ所ある標準電波送信所から送信される標準電波は、10 万年に 1 秒の誤差といわれるセシウム原子時計をもとに「独立行政法人情報通信研究機構」により管理運営が行われています。

6. 上手に受信するために

この時計は、時計内部に電波受信用のアンテナ（9 時位置側）が組み込まれています。
上手に受信するためには、時計を腕から外し、時計の 9 時位置を電波送信所の方向に向け、窓際などの電波が受信しやすい安定した場所に置き、受信中は時計を動かさないでください。

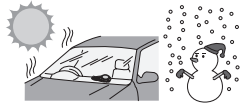


送信所の方向については
「P.16 受信可能地域の目安」を
ご覧ください。

時計の受信レベル「H、M、L」を参考に、何度か時計の向きや場所を変えて受信を行い、受信しやすい場所および方向を探してください。

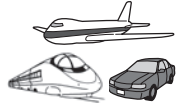
7. 受信が困難な場所について

次のような電波ノイズが発生しやすい場所や、電波の届きにくい環境条件下では、電波を受信できないことがあります。

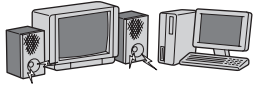


極端に高温や低温の場所

高圧線（電線）、電車の架線、飛行場（通信施設）の近く



車、電車、飛行機の中



テレビ、冷蔵庫、パソコン、ファクシミリ等の電化製品や OA 機器の近く

通信中の携帯電話の近く

鉄筋コンクリート建物の中
高層ビルや山などの谷間、地下

8. 受信の方法

電波の受信方法は定時受信、強制受信、復活自動受信の 3 つの方法があります。電波を正しく受信すると自動的に時刻や日付が修正されます。

定時受信（自動受信）

●定時受信は、りゅうずおよびボタン操作などの必要はありません。
時計の 9 時位置（受信用アンテナ位置）を電波送信所の方に向け、窓際等の電波が受信しやすい安定した場所に置いてください。毎日午前 2 時に受信を行い、受信ができなかった場合は、再度午前 4 時に自動的に受信を行います。

強制受信（手動受信）

●いつでも受信ができます。
受信環境等が変わって、定時受信ができなかった場合に行ってください。

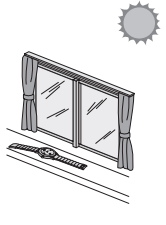
1. 時計を腕から外し、Ⓐボタンを約 2 秒以上押し続け、秒針が高速で「RX」に停止したら離してください。

2. 時計の 9 時位置を電波送信所方向に向け、窓際等の電波を受信しやすい安定した場所に置いてください。
- その後、秒針が「RX」から「H、M または L」に移動します。
- 受信が完了すると、秒針が「H、M または L」から 1 秒運針にもどります。（最大 13 分）

『P.23 受信結果の確認方法』にてご覧ください。

復活自動受信

充電不足で時計が止まった後、時計に光を当てて十分に充電すると、一度だけ自動的に受信を行います。充電不足にならないよう、常に充電を心がけてご使用ください。



A. 受信中の秒針の位置

秒針が RX に移動し停止します。

秒針が RX から受信レベル「H、M、L」に移動し受信を始めます。

正しく受信した場合は、秒針が 1 秒運針にもどり、各針が自動的に正しい時刻に修正されます。

〈受信に要する時間〉

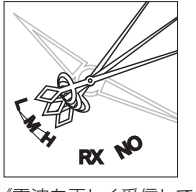
当日の天候やノイズ状況により、受信にかかる時間が約 2 分～最大 13 分かかることがあります。また、秒針が受信中（RX）を指し続け「H、M、L」に移動しない場合、約 60 秒で通常表示にもどる場合があります。

【注意】 受信中に受信局が切り替わったり、環境変化等によって途中電波が遮られ、秒針が 1 回転し再度受信レベルを指すことがあります。1 秒運針するまで時計を動かさないでください。

B. 受信結果の確認方法

受信に成功したか、失敗したかを確認することができます。

1. Ⓐ ボタンを 1 回押すと、秒針が高速で「H、M、L または NO」のいずれかに移動し、受信結果を表します。
2. 受信結果を 10 秒間表示した後、自動的に通常運針にもどります。または、表示中に Ⓐ ボタンを 1 回押すと 1 秒運針にもどります。
   - 「NO」を指した場合は、受信しやすい場所および、方向を探して再度「強制受信」を行ってください。



「H、M、L」は受信レベルを指すものであり、性能には影響はありません。

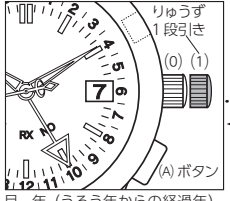
受信レベル	受信中レベルおよび受信結果
H	受信環境が非常に良い状態で受信中または受信したとき
M	受信環境が良い状態で電波を受信中または受信したとき
L	受信環境が良くない状態で電波を受信中または受信したとき
NO	受信に失敗したとき

《電波を正しく受信しても、受信環境や時計内部処理により、時刻表示にわずかなずれが生じます》

9. 時刻の合わせ方

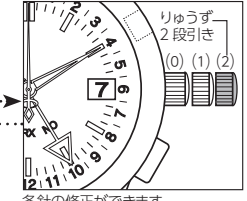
この時計は電波を受信すると、自動的に時刻、カレンダーが修正されますが、海外など電波が届かない地域でご使用される場合は、手操作で時刻や日付を合わせることができます。電波が届く地域にもどった場合は、定時受信、または強制受信を行ってください。

［カレンダー修正］



月、年（うるう年からの経過年）、日付の修正ができます。

［時刻修正］



各針の修正ができます。

修正するモード選択は、(A) ボタンを 1 回押すごとに切り替わり、りゅうずを回すことによって修正できます。

《時刻修正の手順》

1. りゅうずを 2 段引き位置(2)にします。
- 秒針が 12 時位置まで高速運針し、停止します。

2. りゅうずを回し「分針、時針」を合わせます。
① 右に回すと(1 クリック)、秒針が時計回りで 1 回転し、分針が 1 分進みます。
② 左に回すと(1 クリック)、秒針が反時計回りで 1 回転し、分針が 1 分もどります。
- りゅうずを連続回転 (2 クリック以上)させると秒針、分針、時針が連続 12 時間運針します。
- 連続運針を停止させる場合は、りゅうずを左右どちらかに回します。

【注意】日付が切り替わったときが午前 0 時です。午前、午後に注意してください。

3. 時報などに合わせて、りゅうずを通常位置 (0) にもどして、時刻修正を終了します。

10. カレンダーの合わせ方

《カレンダー修正の手順》

1. りゅうずを 1 段引き位置⑴にします。
・カレンダー修正状態になり、時計が記憶している「月」と「経過年」の位置に秒針が移動し、停止します。

2. りゅうずを回し「日付」を合わせます。
①右に回す（1 クリック）と、日付が 1 日進みます。
②左に回す（1 クリック）と、日付が 1 日もどります。

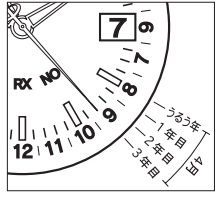
3. Ⓐ ボタンを 1 回押し、りゅうずを回して、うるう年からの経過年を早見表から読み取り「月」と「経過年」を合わせます。

《秒針による月と年（うるう年からの経過年）の見方》

☆秒針が指す「月」の見方

秒針が 1 時と 2 時の間：1 月
秒針が 2 時と 3 時の間：2 月
⋮
秒針が 12 時と 1 時の間：12 月

〈例〉
経過年 3 年目の 4 月の場合
うるう年からの経過年を経過年早見表から読み取ってください。
23 秒（4 時と 5 時のゾーン）の位置に秒針を合わせます。

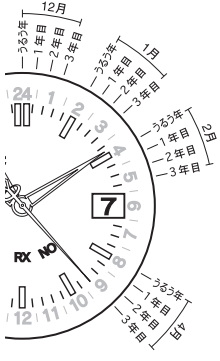


うるう年からの経過年早見表

経過年	年
うるう年	2012、2016、2020
1 年目	2013、2017、2021
2 年目	2014、2018、2022
3 年目	2011、2015、2019

☆秒針が指す「経過年」の見方

うるう年：秒針が各月のゾーンの最初の目盛り
うるう年からの 1 年目：
　秒針が各月のゾーンの 1 目盛り目
うるう年からの 2 年目：
　秒針が各月のゾーンの 2 目盛り目
うるう年からの 3 年目：
　秒針が各月のゾーンの 3 目盛り目



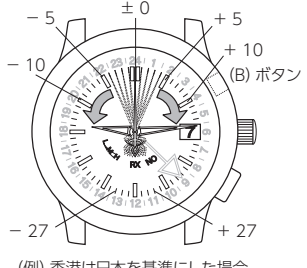
4. うるう年からの経過年早見表より本年は何年目かを確認し、りゅうずを右に回して（1 クリック）、「月」と「経過年」に対応した位置に秒針を合わせます。左に回すと（1 クリック）、秒針が逆転します。

5. りゅうずを通常位置（0）にもどしてください。

・りゅうず 1 段引きで、Ⓐ ボタンを 1 回押すとごとに修正する日付や秒針が動き、修正するモードをお知らせします。

11. 時差修正の方法

時差がある地域に行ったとき、秒針を操作することで、現地の時刻に 1 時間単位で時差を設定することができます。



（例）香港は日本を基準にした場合、
－ 1 時間の時差があるので、
秒針を「59 秒位置」に合わせます。

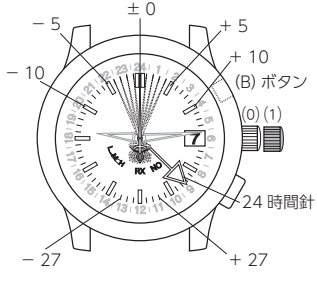
1. Ⓑ ボタンを 1 回押すと、秒針が 12 時位置に停止し、秒針 12 時位置が時差± 0 時間です。
・時差設定されている場合は、時差分の位置で停止します。

2. りゅうずを引き出さない状態で、右に回すと（1 クリック）、秒針 1 ステップで時差を＋1 時間の設定ができます。左に回すと、秒針 1 ステップで－1 時間の設定ができます。
・秒針 12 時位置が日本時間です。日本時間を標準に “± 27 時間” まで時差設定ができます。

3. 時差設定後にⒷ ボタンを 1 回押すか、何も操作しないで 60 秒経過すると時差設定時刻を表示後、高速で 1 秒運針にもどります。

12. デュアルタイム設定方法

現在時刻のほかに、24 時間針でもう一つの時刻を 1 時間単位で設定ができます。



1. りゅうずを 1 段引き位置(1)にし、(B) ボタンを 1 回押します。

- 時計が記憶されている現在の設定状態へ秒針が移動し、24 時間針が左右に動き修正モードをお知らせします。

＊ 24 時間針の左右作動中は、りゅうずの操作はできません。

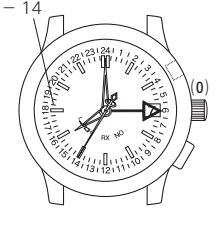
• 秒針12時位置に停止した状態を「時差修正±0時間」ホームタイムとします。

ホームタイムとは
現在拠点 (生活) としている地域の時刻をいいます。

2. りゅうずを右に回すと（1 クリック）、秒針 1 ステップで時差を＋1 時間の設定ができます。左に回すと、秒針 1 ステップで－1 時間の設定ができます。

- ホームタイム 12 時位置を基準に“± 27 時間”の時刻を設定できます。
- サマータイム時期は 1 時間分修正してください。

24 時間針の使い方



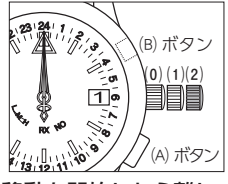
3. 時刻設定後に、りゅうずを通常位置 (0) にもどすと秒針が通常運針し、24時間針が設定した時刻を表示します。

(例) ホームタイム（日本時刻）2000 を基準にして、ニューヨーク時間を表示させる。＊時差− 14 時間

・設定手順に沿って、秒針を「46 秒位置」に合わせます。
24 時間針がニューヨーク時間 6：00 を表します。

13. 基準位置の確認と修正方法

時刻：「0 時 0 分 0 秒」、24 時間針：「0 時」、
日付：「1 日」以外を表示した場合は、基準位置修正を行ってください。



≪時針、分針、秒針、24 時間針、
日付の基準位置の確認と修正方法≫

1. (B) ボタンを約 5 秒以上押し、秒針が高速で移動を開始したら離し、運針中にりゅうずを 2 段引き位置(2)にし、すべての針と日付が止まるまで、そのまま待ちます。
・最大約 7 分かかる場合があります。

*2 の手順に行く前に、正しい基準位置以外を表示した場合は基準位置の修正を行ってください。正しい基準位置を表示した場合は、(B) ボタンを押すかそのまま放置すれば、もとの時刻に戻ります。

2. りゅうずを回して日付を「1」に合わせます。
①りゅうずを右に連続回転 (2 クリック以上) させると、日付が連続で切り替わり、左に連続回転でもどります。
・連続切り替えを停止させる場合は、りゅうずを左右どちらかに回します。
② 文字板窓枠の中心に「1」が見えたら、りゅうずを左右どちらかに回し停止させます。りゅうずを回転 (1 クリック) させると微調整できます。
・(A) ボタンを 1 回押すごとに修正する日付、24 時間針や秒針が動き、修正するモードをお知らせします。

3. (A) ボタンを 1 回押し、りゅうずを回して24時間針を「0時」に合わせます。
① りゅうずを右に連続回転 (2 クリック以上) させると、24 時間針が連続運針します。左に連続回転でもどります。
② 12 時位置に合わせるために、りゅうずを回転 (1 クリック) させると微調整できます。

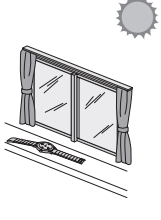
4. (A) ボタンを 1 回押し、りゅうずを回して針を「0時0分0秒」に合わせます。
① りゅうず右回転 (1 クリック) で、秒針が高速で 1 分進み、左回転でもどります。
② 連続回転 (2 クリック以上) させると、秒針が高速に回り、連動している分針、時針が連続運針します。

5. 基準位置合わせ後、りゅうずを通常位置にもどし、(B) ボタンを 1 回押すと各針と日付が高速で現在時刻および日付にもどります。
・これで基準位置合わせは終了ですが、現在時刻にならない場合は、「強制受信」を行い、正しい時刻に合わせてからご使用ください。

14. 光発電機能について

この時計には、電気エネルギーを蓄えるために二次電池が使われています。
一度フル充電すると、約６ヵ月間時刻を刻み続けます。

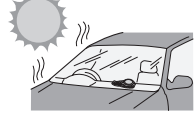
〈この時計の上手な使い方〉
この時計を快適にご使用いただくためには、常に明るい場所での保管を心がけてください。



・時計を外したときも、時計の文字板に太陽光が当たる、窓際等の明るい場所に置くように心がけると、常に充電を続け時計は動き続けます。

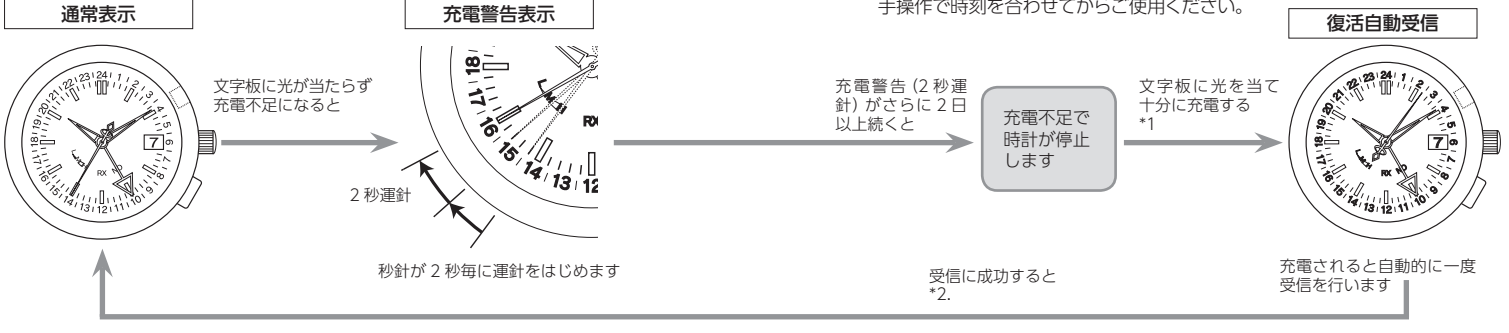
・日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当らないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
月に一度は直射日光を当てて、充電されることをおすすめします。

【注意】
車のダッシュボード等の高温になる場所での充電は避けてください。



15. ソーラーパワーウオッチ特有の機能について

この時計は、充電不足になると表示が次のように切り替わります。



***1. 充電不足で停止した場合**

・光を当てても復活自動受信を行うまで、最短で約 30 分かかります。それ以降も「充電時間の目安」を参考に、十分充電を心がけてください。

***2. 復活自動受信に失敗した場合**

・1 秒運針をしていても時刻がちがっているため、フル充電後、強制受信または、手操作で時刻を合わせてからご使用ください。

A. パワーセーブ機能

文字板に、光が当たらない状態が 7 日以上継続した場合は、時計の機能が一部止まり、パワーセーブ（節電状態）になります。

［パワーセーブ中でも以下の機能は作動します］
- 時計内部では常に時刻を刻んでいます。
- 日付は自動更新します。

〈パワーセーブの解除方法〉
- パワーセーブを解除するには、りゅうずおよびボタン操作では解除できません。
- 文字板に光を当てると、パワーセーブが解除されます。
- パワーセーブが解除されると、各針が高速で現在時刻にもどり、1 秒運針になります。
- 充電不足の場合は、2 秒運針をはじめます。十分充電をし、1 秒運針にもどしてください。

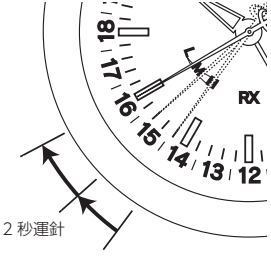
【注意】

パワーセーブ解除後は、(A) ボタンを 1 回押して受信結果を確認してください。
時刻が合っていない場合は、**「強制受信 P.20」**または、**「時刻の合わせ方 P.24」**を行ってからご使用ください。

B. 充電警告機能

秒針が 1 秒運針から 2 秒運針に切り替わり、充電不足になったことをお知らせします。2 秒運針をはじめてから、光が当たらない状態が約 2 日以上経過すると、時計は止まります。

【注意】 2秒運針している時は定時受信、強制受信および手動での時刻修正はできません。



「受信」「受信結果の確認」「時差修正」「基準位置の確認 / 修正」の最中に充電不足が発生すると自動的に操作を中断し操作前時刻にもどり、2 秒運針をはじめます。
充電不足にならないように、常に充電を心がけてください。

C. 過充電防止機能

どんなに充電しても二次電池や、時間精度、機能、性能等に影響をおよぼす心配はありません。

文字板に光が当たり、フル充電になると、それ以上は充電されないように自動的に過充電防止機能が働きます。

D. 充電時間の目安

時計のモデル（文字板の色など）により充電時間は異なります。
あくまでも目安としてご利用ください。

＊充電時間は連続照射時間です。

照度 (lx)	環　境	充電時間（約）		
		1 日分の充電時間	停止状態から 1 秒運針するまでの時間	フル充電までの時間
500	屋内照明	3.5 時間	12 時間	―――
3,000	蛍光灯（30W）の下 20cm	35 分	2.5 時間	―――
100,000 ～ 10,000	屋外（晴天、曇天）	3 ～ 11 分	35 分～ 1 時間	17 ～ 35 時間

1 日分の充電時間…時計を通常運針で 1 日動かすのに必要な充電時間。
フル充電時間……時計が充電不足で停止している状態から最大に充電されるまでの充電時間。

【注意】 フル充電後、持続時間は約 6 カ月となります。
パワーセーブが作動している時は約 2.5 年間、時刻を刻み続けます。
ただし、充電不足で停止してしまうと、表のように時計が動き出すまでに時間がかかりますので、毎日の充電を心がけてご使用ください。
なお、月に一度は直射日光を当てて充電されることをおすすめいたします。

E. 取り扱い上の注意

《時計は常に充電を心がけてお使いください》

- 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
- 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠ 注意　充電上の注意

- 充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温（約 60℃以上）での充電は避けてください。

例）

- 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電
  ※ 白熱灯で充電するときは、必ず 50cm 以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
- 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電

《二次電池の交換について》

- この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなくなります。定期的な分解掃除(有料)をおすすめします。

⚠ 警告　二次電池の取り扱いについて

- お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。
  やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。
  万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

⚠ 警告　指定の二次電池以外は使わないでください

- この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。
  他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

《電波受信機能について》

状　況	確　認	対 処 方 法
受信を開始しない。	秒針が「RX：受信準備」に移動しますか？	Ⓐボタンを押し続け、秒針が「RX:受信準備」位置を指したら、指を離してください。
受信はできるが、時報等の時刻と合わない。	基準位置が正しくセットされていますか？ 基準位置の確認をしてください。 **P.12**	基準位置が正しくない場合は、**「基準位置の確認と修正方法」**をご参照し、合わせ直してください。 **P.32**

状　況	確　認	対 処 方 法
受信できない。 (受信可能地域内で)	電波をしゃへいする物やノイズを発生する物が近くにありませんか？ 窓から遠い場所で受信していませんか？	電波をしゃへいする物や、ノイズが発生する物を避けて、時計の９時位置を送信所に向け受信してください。場所、方向、角度を何度か変えて窓際の受信しやすい場所を探してください。 **P.18**
	受信中で秒針が「RX」または、「H、M、L」を指しているときに時計を動かしていませんか？	受信が終了するまで（通常運針にもどるまで）時計を動かさないでください。（受信にかかる時間が約２分～最大 13 分かかることがあります）

《エコ・ドライブについて》

状　況	確　認	対 処 方 法
秒針が 2 秒毎に動いている。	十分に太陽光に当てていましたか？	充電時間の目安を参考に十分に充電を行なってください。 **P.42**
時計が止まってしまった。		充電したにもかかわらず動かない場合は、弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。 **P.64**
充電しても動かない。		

状　況	確　認	対 処 方 法
時計を机やタンスなどから出した瞬間に、針が早送りされる。		光が当たったことにより、パワーセーブ（節電状態）が解除され、現在の時刻まで早送りされたためです。そのままお使いください。 **P.38**

お取り扱いにあたって

⚠ 警告　防水性能について

- 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- 日常生活用防水時計（3気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- 日常生活用強化防水時計（5気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンダイビング）やスキューバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計（10/20気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。
- 時計の文字板及び裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。(1bar は約 1 気圧に相当します)
- WATER RESIST（ANT）×× bar は W.R. ×× bar と表示している場合があります。

名称	表示 文字板または裏ぶた	仕様	使用例 水がかかる程度の使用。(洗顔、雨など)	水仕事や一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
非防水時計	――――	非防水	×	×	×	×	×
日常生活用防水時計	WATER RESIST（ANT）	3気圧防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST（ANT） 5 bar	5気圧防水	○	○	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST（ANT） 10/20 bar	10気圧防水、 20気圧防水	○	○	○	×	×

⚠ 注意　人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

⚠ 注意　使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量に汗をかいた後は、真水でよく洗いよく拭き取ってください。
- 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうずなど）が外れる危険があります。

⚠ 注意　携帯時の注意

＜バンドについて＞
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。（脱色、接着はがれ）また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンドは、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取り替えください。

＜温度について＞
- 極端な高温 / 低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

＜静電気について＞
- クオーツ時計に使われているＩＣは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

＜磁気について＞
- アナログ式クオーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具（磁気ネックレス･磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、磁気調理器などに近づけないでください。

＜ショックについて＞
- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

＜化学薬品・ガス・水銀について＞
- 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

⚠ 注意　時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作出来なくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたら、すぐに使用を中止して医師に相談してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

⚠ 注意　時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

《夜光付き時計の場合は》

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。
この塗料は太陽光や室内照明（白熱灯を除く）などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間などによって発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合があります。ご注意ください。

16. 製品仕様

1. 機種：H116・H117
2. 型式：アナログソーラーパワーウオッチ
3. 時間精度：非受信時（電波を受信していないとき）
   平均月差± 15 秒
   常温（+ 5℃～+ 35℃）携帯時
4. 作動温度範囲：− 10℃～+ 60℃
5. 表示機能：• 時刻：時、分、秒、24 時間針
   • 日付
6. 付加機能：• 電波受信機能（定時受信、強制受信、復活自動受信）
   • 受信局自動選択機能（日本標準電波専用）
   • 受信準備表示機能（RX）
   • 受信中レベル表示機能（H、M、L）
   • 受信結果確認機能（H、M、L）または（NO）

Perfex パーフェックス
• JIS1 種耐磁
• 衝撃検知機能
• 針自動補正機能
• デュアルタイム機能
• 時差修正機能
• 基準位置確認 / 修正機能
• 光発電機能
• パワーセーブ機能（節電）
• 充電警告機能（2 秒運針）
• 過充電防止機能

7. 持続時間：• フル充電後、充電しないで時計が停止するまで
   ：約 6 カ月
   ：約 2.5 年（パワーセーブが作動しているとき）
   なお、持続時間は電波受信回数等によって異なります。
   • 充電警告表示～充電不足で時計が停止するまで
   ：約 2 日
8. 使用電池：二次電池（ボタン型リチウム電池）1個

※製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービスについて

＜保証について＞

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

＜修理用部品の保有期間について＞

当社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常７年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

＜修理可能期間について＞

当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

＜ご転居・ご贈答品の場合＞

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

＜定期点検（有償）について＞

安全に永くご使用いただくために、２～３年に一度、点検（有償）を行なってください。防水時計の防水性能は経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやバネ棒などの交換を行なってください。部品交換の際は、純正部品とご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検または修理を行なう必要がある場合もありますので交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

＜修理について＞

時計の品質を維持するために、この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご依頼ください。

＜その他お問い合わせについて＞

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

受信困難なお客様へ

受信に関しては、そのときの気象状況や電波環境の影響を受けます。
『電波受信』をお試しいただいても、受信に成功されないという方には、電波送信所からの電波進入方向を示した地図をお作りするなどのサポートをしています。
受信が困難なお客様は『シチズンお客様時計相談室』へお問い合わせください。なお、お客様からお預かりした個人情報は、受信に関するサポートのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。